

2025 年 10 月 吉日

各 位

増田啓子（龍谷大学名誉教授）
京都市東山区下河原町 463-1-506
(E-mail: keimasu0390@gmail.com)

2025 年カエデ紅葉調査ご協力のお願い

平素より本研究にご協力いただき、ありがとうございます。京都市内のあちらこちらで広葉樹の木々が色づき始める季節となりました。今年度も、「京都府内のカエデ紅葉日調査」を実施しますので、ぜひ調査にご協力いただきたくご案内いたします。

以前からご協力いただいている方は、ぜひ昨年観察したカエデを観察してご報告下さい。また、今年から新しくご協力いただける方は、「この 1 本」と思うカエデを標準木として選んでいただき、継続して観察して下さい。調査して報告いただくのは、「紅葉日」と「落葉日」です。

調査票には毎日曜日を観察日とし、今年度は 11 月 2 日（日）をスタートと設定しています。落葉日が 1 月になることから 12 月末までお願いします。

観察日はあくまでも目安として設定していますので、「紅葉日」と「落葉日」の判定が出来る方は、その 2 日についてのみご報告いただくのでも構いません。また、南丹市美山町や園部町などでは、調査日初日より早く紅葉が始まる可能性もありますので、その場合は調査を始めて下さい。

なお、「紅葉日」や「落葉日」の定義や観察する木の選び方など詳細は、同封の「カエデ紅葉調査方法について」をご覧ください。

舞鶴気象台の生物季節調査が 2013 年度で終了しましたので、舞鶴市にお住まいの方からの情報が大変貴重なデータとなります。すでにご協力いただいている方には感謝申し上げます。また、舞鶴市だけでなく丹後地区や中・南丹地区など京都北部でのデータは、京都のカエデ紅葉日状況を知る貴重なデータとなりますので、ご協力をお願いします。皆様から寄せられたデータをもとに、紅葉日状況を分析させていただきます。

以上

【参考 1】これまでの京都府域の観測地点数・観測者数・紅葉日の遅速地点（2008 年～2024 年）

観測年	地点数(観測者)	紅葉日				京都府域の 紅葉日期间
		最も早い地点		最も遅い地点		
2008	169 地点(100 人)	京丹後市	11 月 15 日	京都市内	12 月 15 日	30 日
2009	130 地点(55 人)	美山	11 月 5 日	京都市内	12 月 8 日	33 日
2010	175 地点(80 人)	美山	11 月 13 日	京都市内	12 月 14 日	31 日
2011	27 地点(31 人)	美山	11 月 14 日	京都市内	12 月 16 日	32 日
2012	83 地点(108 人)	美山・園部	11 月 5 日	京都市内	12 月 8 日	28 日
2013	76 地点(94 人)	美山	11 月 7 日	京都市内	12 月 8 日	31 日
2014	76 地点(110 人)	八木	11 月 5 日	京都市内	12 月 5 日	28 日
2015	79 地点(71 人)	美山	11 月 4 日	京都市内	12 月 15 日	41 日
2016	83 地点(39 人)	美山	11 月 1 日	京都市内	12 月 11 日	41 日
2017	62 地点(33 人)	美山	11 月 10 日	京都市内	12 月 3 日	23 日
2018	46 地点(28 人)	美山	11 月 11 日	京都市内	12 月 12 日	28 日
2019	58 地点(18 人)	美山	11 月 11 日	京都市内	12 月 16 日	35 日
2020	58 地点(22 人)	美山	11 月 13 日	京都市内	12 月 15 日	32 日
2021	58 地点(22 人)	美山・京北	11 月 14 日	京都市内	12 月 5 日	19 日
2022	58 地点(22 人)	南丹市日吉	11 月 6 日	京都市内	12 月 17 日	36 日
2023	65 地点(19 人)	京北町	11 月 14 日	京都市内	12 月 17 日	32 日
2024	65 地点(16 人)	京北町	11 月 9 日	京都市内	12 月 14 日	36 日

【参考2】2024年カエデの紅葉調査報告より

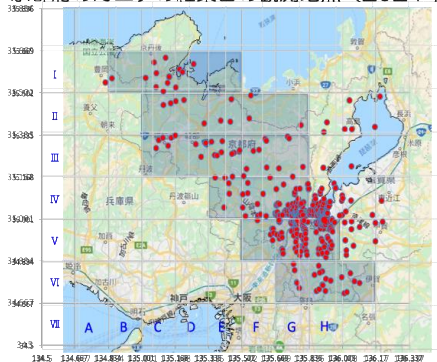
2024年の紅葉は、記録的な猛暑だった今年は、秋になっても暖かい日が続いた。府南部では、紅葉が見ごろを迎える時期が、例年より遅れている所も多かった。

「黄色い、茶色い、枯れている」「色付く前に／色付くとすぐ落ちてしまう」「赤が弱い」「色付きにばらつき（個体差）がある」という声が多く寄せられました。高温と少雨によって葉の状態が悪く、「枯れる」「落ちてしまう」といった現象が発生した可能性があります。落葉樹の葉が正常の大きさに成長せず、例年よりもやや小さい葉が目につきました。特に樹冠の上位（木のてっぺんの方）の葉が小さく、紅葉しても迫力にやや欠けていました。さらに11月になっても9月の頃の陽気が続いたことが、紅葉の色づきを遅らせました。気温が下がるのが遅れたことで、樹冠の上位が紅葉し、中ほどから下の枝が紅葉していないイロハモミジが目立っていました。

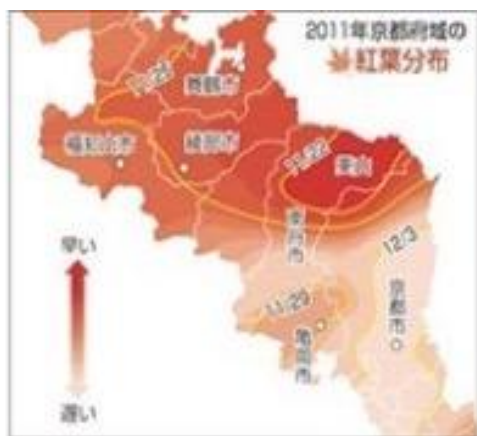
紅葉日を緯度別に経年変化を示します。Ⅰ～Ⅴ地域（※1）経年変化、早い美山や京北・園部を含むⅢ地域／遅い京都市内を含むⅣ、宇治市を含むⅤ地域（※2）を示します（市民参加65地点＋マスコミ情報271地点）。その他の地域については過去の分布図（※3）を参考にして下さい。

2024年の観測地点と地域区分

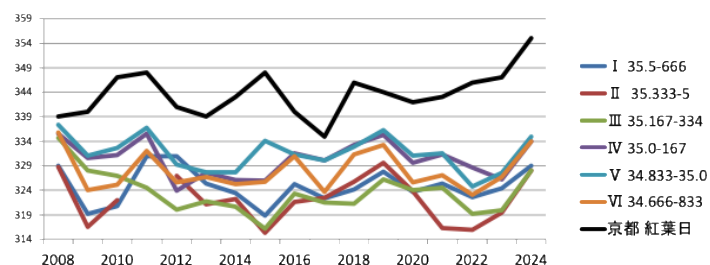
京都府のカエデの紅葉日の観測地点（2024年）



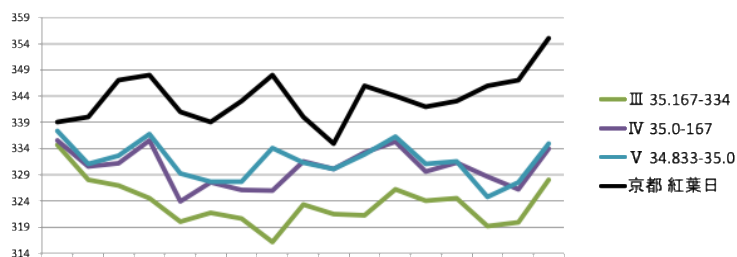
過去の京都府域の紅葉分布図①2011年



Ⅰ～Ⅴ地域（※1）の紅葉日



紅葉日が早いⅢ地域と遅い京都標本木・Ⅳ・Ⅴ地域（※2）



京都と舞鶴の紅葉日の経年変化

